

2003-6-①

読者相談室 045(411)7666

直通電話045(411)

編集局 7648 メディア局 7685

販売局 7510 出版局 7570

広告局 7530 企画開発局 7544

経営管理局 7450

ホームページのアドレス

http://www.kanagawa-np.co.jp

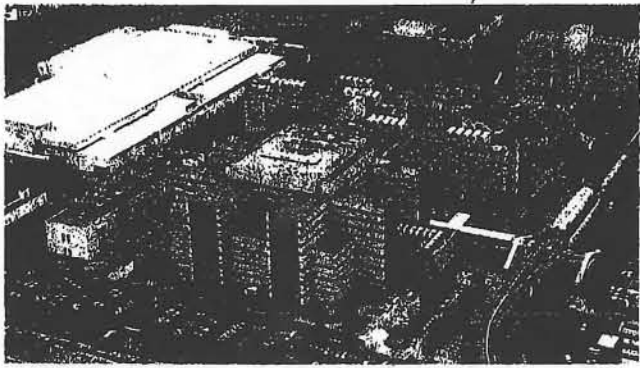
# 神奈

〒220-8588 横浜

H15.1.17

神奈川新聞

## 横浜市大 累積赤字1141億円



多額の負債を抱え、売却や廃校などが提案されている横浜市大。写真は市大医学部付属病院一同市金沢区福浦

### 懇談会の 座長私案 「廃校も選択肢」

横浜市立大学（大学、付属病院、センター病院）の累積赤字（二〇〇二年度末現在）が約千四百四十一億円に上ることが十六日、分かった。同日開かれた同大の将来像を検討する中田市長の私的機関「市立大学の今後のあり方懇談会」で明らかになった。座長の橋爪大三郎東工大教授はこうした現状を踏まえ、「存続への改革案」とともに「廃校も選択肢の一つとすべきだ」とする私案（たたき台）をまとめた。

同市大事務局による 民総合医療センター（南 三百二十億円と）なっている。市大医学部付属病院 区浦舟町）が六百十七億と、市大医学部付属病院（金沢区福浦）が〇一年 円。大学部分（金沢区福浦）が〇一年 円。度までに抱える負債は二戸キャンパス、鶴見区額 百四億円。医学部付属市 見キャンパスなど）は約 年度が約五百六十七億で〇一年度の約半分だが、九八年には九百七十五億円にまで膨らんで いる。事務局では、セン ター病院や、鶴見区の中 大連携大学院などの建設 費、医療機器などの施設 整備費が主な要因と説明 している。

同懇談会の森谷伊三男 委員（公認会計士）が〇 二年度の予算を基に同大 の財務分析を実施したと いうと指摘している。 不足分は一般会計の繰 入金で補っている

2003-6-③

2003年(平成15年)2月9日(日曜日) 11版 特報 [26]

ニュースの追跡 話題の発掘 Fax:03(3472)6963 / E-mail:tokuho@chunichi.co.jp

### 万引の少年事故死 古書店が廃業撤回

川崎市内の中学三年生の少年（Ａ）が万引し、逃げる際、電車にはねられ死亡した事故で、通報した古書店長（Ｂ）は、多くの激励に廃業方針を翻して営業を再開した。しかし、一方で、店長の元にはまだ非難の声も届く。波紋は収まらない。（市川千晴）

近くで精肉店を営む女性（Ｂ）は「息子も古書店でアルバイトさせてもらったけれど、店長は仕事熱心でまじめな人。万引はれっきとした犯罪。それを警察に届けるのは当然のこと。非難する方が間違っている」と二気にまくらした。 いったんは廃業を決めた店長だったが、「なぜ万引を注意した店が批判を浴びるのか」と古書店のフランチャイズ本部に千件以上の激励が届き、地元の商品会からも励まされ、三日から営業再開に踏み切った。 今も励ましの声を掛ける客がいる一方で、文句を言

## 批判と激励のはざまで揺れ



激励の声に営業を再開した古書店＝6日、川崎市で

する胸の内を明かした。ことばはなかったが、面と向かって「人殺し」などと言子だったし、落ち着いて愛われ、精神的にかなりきつ けさせられていると思ったの かった。それは今も変わらず も「これまで年間十人以上の 近くの不動産業者（Ｃ） は、店長の気持ちをうろ察 する。「悲しい結果だが、 事情を知らない人が道徳心 を忘れ、批判するのは間違 ている。それでも店長は 何でも真剣に取り組むんだ から、最善の方法は何だっ たのかと自問自答している んじゃないかな」



花東やスナック菓子が入った事故現場＝22日

万引に対する罪悪感の薄れも問題になった。フランチャイズ本部は「保護者も含めてほとんどが謝るが、中には「並で返せばいいでしょ。二度と店には来な ない」と逆キレる人もいて、自分が報復を受けよう。万引を根絶するのは無 理だし、店長は今度直面し ている。つまり、フラストレ ーションの原因となること に向かわず、安全で手近な 対象を攻撃するのが匿名性 の特徴だ。結局は、人間が 個人としての尊厳を回復し ない限り、こうした卑劣な 現象を攻撃するのは防げない」と話す。 古書店への批判 予測して報道を

自分への不満を ぶつける匿名性 駒沢女大学の富田隆教 授（心理学）は「自分が認 められない恨みや無力感 しなくてはいけない」

事件経過 先月二十一日、古書店で漫画六冊を万引 した少年を店長が発見。名前や学校名がウソと分かり 一〇番。少年は謝罪したが警官にも連絡先を言わな かったため、任意同行しようとしたが突然逃げ、近 くの踏切の遮断機をくぐって線路内に入り、特急にはね られた。事故後、「あんたが殺したんだ」などと店を 訪れて怒鳴る人や、電話での非難が相次ぎ、店の窓ガ ラスには中傷ヒラまはられた。インターネットの掲示板でも店長の対応をめぐり意見が飛び交った。店長は 先月二十六日、店頭に謝罪文を掲示し、いったん廃業 を宣言。

opinion @ AERA

# 小泉首相の靖国参拝 賛成? 反対?

賛成と反対がほぼ同数、しかも半数は「どちらともいえない」。意見が真っ二つに割れてしまっているように見えるが、社会学者の橋爪大三郎さんは、こう読み解いている。

「小泉首相の政治的なパフォーマンスが一定の効果を持ったといえるかもしれないですね」と、この結果を見て社会学者の橋爪大三郎さんはいう。首相の靖国参拝は本来、人気がない行為だった。それを人気のある小泉首相が行ったことで、国民は「エツ」と思った。これまでなんとなく参拝反対と思っていた人たちが、少し考え直してみようと「どちらともいえない」に回ったのではないかと。今回の調査では回答者の年齢の比率が20歳代33%、30歳代38%、40歳以上22%と比較的若くなっている。それにもかかわらず、賛成と反対がほぼ同数になった。

「国のために命をかけた人々を大切にするのは当然。戦争で亡くなった方々がいるからこそ、今の日本があると思う」(広島県、賛成意見は、)。反対意見は、「アジアの国々の感情を考えると戦犯が祀られている靖国神社を参拝するのは、絶対におかしい感覚だと思う」(山梨県、公務員、46歳)、「今さらなぜ靖国なのか。わざわざA級戦犯が祀っている靖国に行く必要はない。宗教的な行事を公にするのは気分が悪いし、ヒトラーの墓参りをする人を平和主義とは思わない」(北海道、専業主婦、27歳)、「国家の代表が国のために戦死した方々を見舞うのは当たり前で、靖国神社がとやかく言う筋合いはない」(静岡県、自営業、36歳)、「靖国参拝は、20歳代、30歳代にも「戦没者に敬意を払って何が悪いのか」という思いが浸透している」。

## 小泉スタイルが謝罪と戦没者の関係 問い返す効果

「アジヤの国々の感情を考えると戦犯が祀られている靖国神社を参拝するのは、絶対におかしい感覚だと思う」(山梨県、公務員、46歳)、「今さらなぜ靖国なのか。わざわざA級戦犯が祀っている靖国に行く必要はない。宗教的な行事を公にするのは気分が悪いし、ヒトラーの墓参りをする人を平和主義とは思わない」(北海道、専業主婦、27歳)、「国家の代表が国のために戦死した方々を見舞うのは当たり前で、靖国神社がとやかく言う筋合いはない」(静岡県、自営業、36歳)、「靖国参拝は、20歳代、30歳代にも「戦没者に敬意を払って何が悪いのか」という思いが浸透している」。

靖国神社を個人的には参拝したいと思いませんか  
45% 43% 13%  
思わない どちらともいえない 思う

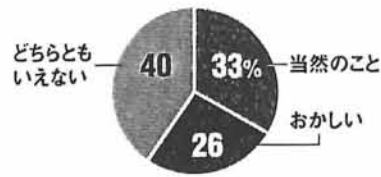
新たな戦没者追悼施設の建設について  
28% 40% 31%  
反対 どちらともいえない 賛成



マクロミルのネットリサーチで、年齢・職業を問わない男性272人、女性258人から回答を得た。小数点以下四捨五入

photo 映像本部・吉村功志

## 首相の靖国参拝に中国、韓国が反発することに對して、どう思いますか



これまでの戦争についての謝罪や否定は戦没者との関係を放棄することで成り立っていた側面がある。それを問い返す効果がある。小泉首相の靖国参拝にはあったというわけだ。とはいっても、「靖国神社を個人的には参拝したいと思いませんか」との問いには「思う」が13%だけだった。「戦没者の追悼について、現在、十分に行われていると思いませんか」と聞くと、

「十分でない」が31%で「思う」の17%を大きく上回っているにもかかわらずだ。靖国神社を自身の問題に結びつけて切実に考えている人はまだ少ないことが見てとれる。また「戦犯といわれる人々を追悼することをどう思いませんか」という問いでは、「追悼すべきである」が28%で「追悼すべきでない」の18%を上回った。これが本場に多数派なら、靖国神社の戦犯合祀の問題は決着がつくはずだ。「どうも、それぞれの回答の底に一貫した考え方が流れているかというところでもない。これまでは、革新ならば自衛隊反対でこれこれ、保守ならば日米安保堅持でこのこのという組み合わせられたセットがあったが、それがバラバラになってきている。革新とか保守のワンパターンの回答ではない。若い人

http://www.macromill.com/

「首相の靖国参拝に中国、韓国が反発することに對して、どう

「加害者の方が被害者より昔のことは早く忘れたらと思う。しかし、被害者はなかなか忘れない。もう少し、それにつきあう忍耐が必要ではないか。若い人たちがもう自分たちと戦争とは関係ないとしてしまおうとしたら問題です」と危惧する。過去に起こした戦争を忘れるのではなく自分との関係をしっかりと見つけ続けるためにも、靖国参拝の問題は避けて通るわけにはいかない。

「加害者の方が被害者より昔のことは早く忘れたらと思う。しかし、被害者はなかなか忘れない。もう少し、それにつきあう忍耐が必要ではないか。若い人たちがもう自分たちと戦争とは関係ないとしてしまおうとしたら問題です」と危惧する。過去に起こした戦争を忘れるのではなく自分との関係をしっかりと見つけ続けるためにも、靖国参拝の問題は避けて通るわけにはいかない。

# スターへの喝采か 強者への盲従か 石原知事圧勝の背景を識者が分析

石原氏は1968年、参院選全国区から初当選して政界入りした時、史上最多の301万票を獲得した。ところが、今回は東京都内だけでそれを上回った。前回知事選での得票(166万票)をはるかにしのぐ、この圧勝をどう理解したらいいのか。

「こんなに取るとは思いませんでした」

石原知事の政策決定過程を描いた『石原慎太郎「5人の参謀」の著者で、今回の知事選も取材したジャーナリストの上杉隆氏は驚く。

上杉氏は前回知事選の時、2位で落選した鳩山邦夫氏(現衆院議員)の秘書だった。徹底した組織選挙を展開した鳩山陣営から見ると、当時の



上杉 隆氏

ぶん抑えたものだった。それでも、得票が前回を大幅に上回ったのは、石原氏がパーソナリティーだけで票を得てきたことの証明です。今が光り輝く絶頂期かもしれません」

「石原氏は『結果さえ良ければいいだろう』という姿勢で、政策決定の過程の開示が不十分です。2年目くらいからそういう傾向が出てきた。国を動かしたのは確かで、評価すべきだと思う。しかし、プロセスを見せない姿勢は、独裁につながる危険性があると思います」



橋爪大三郎氏

石原陣営の選挙戦は「ずいぶん脇が甘い」という印象だったという。それでも石原氏は鳩山氏の2倍近い票を得た。そして、今回はさらにその2倍近い得票である。

「本人の言うことは30年前から全く変わっていない。時代が石原慎太郎という政治家をトップに押し上げたのだと思う。ちょうど米国のレーガン元大統領と似ている。都民が自信を失っている時に、『周りが悪いんだ』と外側をたたく。それも、銀行税やディーゼル車規制のように、業界や国という強い者を標的にして、うつ屈した有権者の声を代弁する。そういう彼のポピュリズム(大衆扇動政治)が成功したと言えます。さまざまな課

題の中から、単純化しやすい課題を切り離して電撃的に実行することで、より強い支持が得られるのです」

東京工業大学の橋爪大三郎教授(社会学)はこう見る。「独自の政策を打ち出した指導力が評価されたということでしょう。石原氏は現在の法律や制度の中で、ぎりぎり何ができるか、あるいは少し乗り越えて何かできないか、というところでアイデアを出してきた。硬直した制度の中で、普通の議論が通らない閉塞感を抱えていた都民は、そこに共感した。国政に対する不満を吸収した面もある」

香山リカ氏



原氏の『力強さ』に屈服した有権者が多かったのではないのでしょうか」

香山氏は若い世代を引きつける対立候補が出なかったことも石原氏の勝因と見る。

「物事を少しでもまじめに考えようとする若者にとって、その人のまねをしたら『格好いい』と思わせてくれるような人が出なかった。そういう若者にとっては、むしろ石原さんの言葉をなぞる方が、自分が高まるような気持ちになったのではないでしょうか」

ノンフィクション作家の吉永みち子氏はこう話す。

「投票した4割の有権者のうち7割までもが石原さんに投票した。有権者がものを考えられなくなってきたというのではないのでしょうか。文句は言うけれど、どうしたいのかわからない。だから、ただついて行ける強い人を求めるようになる。その結果が石原さんの圧勝だと思う」

樋口氏の推薦人の一人でもあった吉永氏は、2期目の石原都政に危機感を抱く。

「今回の大量得票で、石原さ

るのワンマン化のチェックがさらに難しくなるのではないかと心配です。問題発言にも、いつの間にか慣らされてしまっている。テレビで定例記者会見の中継をよく見るが、まるで教室に生徒が並んでいるみたい。石原さんは、気に入らない質問に、すごい勢いで怒るものだから、記者が委縮してしまっている。知事がメディアを怒鳴るということとは、その後ろにいる都民を怒鳴るのと同じことです。他の人なら大問題になるでしょう。当選後の記者会見で、『任期を全うするのか』という質問に、石原さんは『つまらない質問をするな』と言った。決してつまらない質問ではないと思う。記者はもっと勉強して食い下がってほしい」

石原氏は「これまで以上に過激にやる」「国を小突き回す」と、相変わらずの「石原節」を披露している。だが、一方で常に国政への「色気」をおおせてもきた。それも、常に注目を浴びるための「扇動」の一つなのだろうか。

本誌・日下部聡



吉永みち子氏

上杉氏はまた、1期目の石原都政の問題点を次のように指摘する。

「問題があっても、この人にすぐるしかない」というようなやり、抗議する気力もなく、石

### 増長する暴言に孤独な異議 野田聖子元郵政相が「身内、分析



野田聖子元郵政相は「身内、分析」

「問題発言が相次いでいる」との感想は、そのときから、ますますかと思っ

「問題発言が相次いでいる」との感想は、そのときから、ますますかと思っ

### 別の会合で『男女参画基本法廃止したい』 太田議員

## 小泉マジックに甘え 子ども化しちゃった

### 最近問題となった政治家の主な発言

- 小泉首相「(国債発行枠30兆円などの)約束を守らないことは大したことではない」(1月23日、衆院予算委)
- 太田誠一・自民党行政改革推進本部長「集団レイプする人はまだ元気があるからいい。正常に近い」(6月26日、鹿児島市内での公開討論会)
- 森喜朗前首相「子どもを一人もつくらぬ女性が好き勝手と言っちゃいかんけど、まさに自由をおう歌して楽しんで年

「レイプされる女性にも落ち度がある」といった発言も複数あった。

## 「社会的な問題の責任 女性に押しつけてる」



18日、東京都庭園美術館でマリー・ローランサン展を見学する森前首相中

18日、衆院予算委で答弁する鴻池防災担当相

「以前は、本音として政治は合意形成の場ですか、気持ちが多くなっている」

「野田議員は、自民党の大先輩の許し難い暴言が相次いだ」として朝日新聞に投稿した。内部から目に

### 「仲間内選挙」を許す有権者側も問題

政治と選挙に詳しい識者は一連の問題発言をどうとらえているのか。イラクに行けば殺されるかも知れない。など発言

### 識者の見方

「日本では近い内でも、社会のたが外れ、身体障を患いたりする言葉と、出が害者などの社会的弱者や女性

「服装禁止法を」  
男性からメール  
「私のところにも一般の男性から『今の女性の服装

# 「戦争責任の最新研究」の最新研究



ここまで進んだ



歴史に「イフ」はありうべからざる設問だ。が、もし太平洋戦争後の東京裁判に、天皇が「戦犯」として名を連ねていたとしたら、日本はいかなる変容を遂げていたことか。玉音放送以降、「天皇の戦争責任」に関する論争は果てしなく繰り返されたが、58度目のこの夏、国民への謝罪の意を表した詔書草稿の文書が発見され、再び議論が白熱している。この機に「戦争責任」の最新研究をお届けする。

では、天皇を「日本の元首」「陸海軍の統帥者」と定めていた大日本帝国憲法下で、戦争責任はどう解釈されてきたか。

東京工業大学の橋爪大三郎教授が解説する。「天皇は神聖にして侵すべからず」という有名な条

文がありますが、実はこれは天皇にはいかなる責任も及ばないという規定です。他にも、それぞれの国務大臣が責任を負うとする規定もある。わが国の場合、イギリス式の立憲君主制ですから、「君臨すれど統治せず」が厳格に守られていた。ですから、責任を負うのは天皇を補弼する臣下で、天皇自身ではないのです。これは戦時でも同様で、

陸軍参謀総長と海軍軍令部長の2人が作戦命令の立案を行い、天皇に上奏して裁可を受けるシステムでした。やはり、責任を負うのは参謀総長と軍令部長の2人です。法治国である日本で、天皇が戦争責任を問われるのはおかしい。GHQが訴追をしなかったのも、これに合致する。それを蒸し返して追及するのはヘンな話なんです」

発見された「謝罪詔書草案」

『Views from Japan』 p6 Vol. 8, No9

## 教育

文部科学相の諮問機関・中央教育審議会の答申を受けての教育基本法改正法案の国会提出は来年に持ち越されたが、論議の焦点は答申が新たに基本法に盛り込むべき理念とした「国を愛する心」だ。東京工業大学大学院教授の橋爪大三郎氏は『論座』2003年9月号の「愛国心の根拠は何か」で、愛国心が大切だとスローガンのように叫んでも無意味だと強調する。氏は、「国を愛する心」には、公共の道德心、郷土への愛、日本人としてのアイデンティティ、歴史や文化、伝統への敬意、憲法や政治的国家に対する忠誠心といったさまざまな内容が盛り込まれているようだとし、1つひとつはよさそうに見えるが、ごっちゃに教えられると有害だと言う。氏によると、道徳はまず家庭で教えるべきだし、郷土への愛は地域社会が育むことだ。歴史や文化を教え、日本人としてのアイデンティティを育む教育をしようと思うなら、多文化主義で補完しなければ偏ったものになる。学校教育がきちんと教育すべきは、政治的国家と国民の関係、つまりは民主主義で、愛国心が根拠を持つとしたら、それは、この国の政府は自分たちが組織したのだという点に基づく以外にない。

(財)フォーリン・プレスセンター 2003.9発行

## EDUCATION

Following a report by the Central Council for Education, an advisory panel to the education minister, a bill to revise the Fundamental Law of Education will be submitted to the Diet next year. Debate is focusing on a provision in the report stating that the goal of fostering patriotic spirit should be included in the new basic law. Tokyo Institute of Technology Professor Daisaburo Hashizume argues that chanting slogans about the importance of patriotism is meaningless in "What Is the Basis for Patriotism?" Hashizume says that the patriotism described in the report contains a number of different components, including public morals; love for one's hometown; one's identity as a Japanese; respect for history, culture, and tradition; and loyalty to the Constitution and the state. While each of these appears laudable on its own, teaching them as a jumble will cause harm.

According to Hashizume, morals should first be taught in the home, and love for one's hometown is something that is nurtured by local communities. The teaching of history and culture and the fostering of students' Japanese identity must be complemented with multiculturalism if it is not to become slanted. What schools should teach is the relationship between the state and the people, in other words, democracy. The only possible basis for patriotism is the fact that the country's government is formed by the people. ("Aikokushin no konkyo wa nani ka," Ronza, September 2003.)



2003年冬、  
国際学生シンポジウムは  
新たな歴史を迎える。



第20回分科会講師(他3回)  
橋爪大三郎氏(東京工業大学教授)

冷戦が終わりITが普及して、大学と大学の垣根が低くなった。学生は自由に移動し、キャンパスも国際化も当たり前になった。競争の時代でもある。個人の実力が問われる。国際学生シンポジウムが未来を見つめて重ねてきた歩みに、時代が追いついたと言えるだろう。

# 吉本隆明という存在 アンケート

特集

吉本隆明とはなにか

- Q1 吉本隆明の詩の中で、最も好きな、あるいは最も大事な作品をお教え下さい。
- Q2 吉本隆明の仕事の全領域の中で、とりわけ重要とお考えになるものをお教え下さい。
- Q3 現代詩において、社会全体において、あるいはあなたのなかで、吉本隆明が果したものは何だとお考えですか。

●荒川洋治

- ① 「ちひさな群への挨拶」。そのなかの「ひとつの直接性」ということは当時もいまま印象的だ。
- ② 『日本近代文学の名作』（毎日新聞社）。おもしろい。知らない人にもわかる。
- ③ 意識的に生きようとする人すべてに必要な人。吉本隆明その人にも必要な人。



●橋爪大三郎

- ① 詩については判断できません。
- ② 『共同幻想論』『言語にとって美とはなにか』『心的現象論』などは重要な仕事と 생각합니다。
- ③ 戦後という時代、社会の制度のなかで、思索することの極限のかたちを示してくれた。

怒りの永田町編 9日に投票が迫った総選挙。焦点といわれる「マニフェスト」の中身を読んだことがないあなたのために気になる点を検証しました

# 未来を担う子どもたちの教育は

別表の自民と民主のマニフェストを見比べた東京工業大学大学院社会学教授の橋爪大三郎氏は、こう第一声。「教育に関して言えば、民主のマニフェストのほうが、

ある程度、体をなしている



「両党とももっと勉強して欲しい」と橋爪氏

「学力低下については、小、中学校はもとより、いちばんひどいのは高校なんです。授業がわからずフリーターになるしかない高卒が今のままだとどんどん増え続けるし、間違いなく犯罪も増えていきます。大学もそう。大学がガタガタになると、産業がガタガタになり、国そのものがガタ

ガタになってしまおう」大学生の学力が向上すれば、新しいアイデアもどんどん出る。パテント(専売特許)料を取って儲ければいい、と経済効果をも指摘する。

「民主党も着目点はいいが、少しピンポイントがずれています。今、小さい子どもを抱える人

が困っているのは、学力が足りないんじゃないかということ。それを補うためには、必然的に塾に通わせたり、家庭教師をつけなければならぬし、お金がかかります。簡単に言えば、お金がなければ子どもに学力がつかないわけです」

等しい教育を受けることすら難しくなっているのだ。今の公立学校は学習指導要領に従って教えているだけ。これでは通わせたいという親の意欲が半減するのは当然のこと。公立学校にも規制緩和が必要なのに、それを訴える政党がないのが現状だ。

「授業がわからずフリーターになるしかない、という人が

増えています。これを改善するためには学習指導要領に沿うだけでない、サービスピリットが必要。小・中・高に通うだけでその先の進路も自由に選べるくらいに学力を公立学校がつけさせてあげなくては。郵便局もいいですが、今、いちばん改革が必要なのは、教育です」

明日を担う子どもたちに、確たる学力をつける場所。それが学校の役割だ。より多くの議席を目指し、各党の党首たちは、今日も全国を走り回っている。掲げた方がいいが、専門家に指摘させると問題だらけのマニフェスト。内容を精査して、次の政権を預けられる政党に1票を投じたいところが、現在のところ各党のマニフェストはそこまで完成されたものではないのが現状のよう



教育	
民主	自民
4年間、80億円ずつ予算を増額し、小学校低学年の30人学級を実現させる。学校5日制を見直し学力回復を目指す。	教育基本法を改正し公共の精神や国を誇りに思う心が身につく教育を目指す。



## ちょっと真面目ですが...

# マニフェスト 早わかり

今回の総選挙は、日本の選挙史上初のマニフェスト(政権公約)選挙でもある。政権政党を有権者が選ぶ——候補者選びから政党の選択へと、選挙の質を大きく変えると言われる。各党渾身のマニフェストに、有権者はどのような審判を下すのか。

マニフェスト。平たく言えば政権公約、つまり、政権を取った場合に実行する国民との約束事だ。衆院解散直前に公職選挙法の改正を行い、配布が可能になった総選挙の「目玉」である。東京工業大の橋爪大三郎教授(社会学)は、「従来の公約は候補者個人の選挙用のキレイごとだった。だが、マニフェストは政党が達成期日を区切り、財源を明示して、実行に移

すべきものだ。有権者も現実の「痛み」から、具体的な政策を求め始めている」と指摘し、政権交代の攻防を繰り広げる自民・民主の政策をこう採点する。

「本当に実行できるのか、という不安はあるが、具体性や整合性、期日・財源の裏付けなどで民主の方が評価できるため、65点。自民は政権担当能力は実証済みだが、マニフェストは従来の公約の寄せ集めの観がぬぐえず、50点止まり」

政党の気合は十分でも、中身はまだまだ、ということか。それでも、政策による投票は歓迎すべきことだ。

年金	
民主	自民
予算の無駄遣いにメスを入れ、5年で基礎年金の国庫負担を2分の1に引き上げる。消費税の一部を財源として新しい年金制度を創設する。	基礎年金の国庫負担を2分の1に引き上げる。年内に改革案をまとめ、来年の通常国会で法案提出。

医療	
民主	自民
医療体制を整備し3年以内に全国350カ所以上の小児救急センター病院を指定。	乳幼児の医療費負担を2割に。エイズやSARS等の新たな感染症に対処。水際での阻止や国内での感染拡大防止を迅速に行えるよう体制作りをする。

### 識者「採点」付き